

遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討
合同部会②について【小山市】

1) 具体的テーマについて

○新テーマ

「野鳥の生息環境の保全」(遊水地環境保全・再生部会)

「普及啓発のための人材育成」(人々の交流・教育・普及啓発部会)

以上の2テーマについて協議を進めていく。

本日開催の第13回合同部会②では、「野鳥の生息環境の保全」について協議をする。出席者を2グループにわけて、グループごとに意見を出しあう形式とする。

○「野鳥の生息環境の保全」

渡良瀬遊水地には貴重な湿地環境があり、絶滅危惧種や貴重な動植物が生息生育する「自然の宝庫」となっている。野鳥に関しては、日本で確認できる半分の260種が確認されており、今年2月からは野田市で平成28年に放鳥されたコウノトリが長期滞在したり、ここ最近では、同じく野田市で平成28年に放鳥されたオスと今年放鳥されたメスが同時に飛来したりしている。また、当協議会では、平成27年度に「渡良瀬遊水地 自然と人にやさしい10のマナー」(以下、マナーパンフレット)というパンフレットを作成し、渡良瀬遊水地で見られる野鳥への配慮についてを謳い、啓発を行っている。

そこで、本テーマでは、これまで行ってきたマナーパンフレットでの渡良瀬遊水地の野鳥への配慮についての啓発を引き続き行うとともに、特別天然記念物であり、生態系的にも非常に貴重なコウノトリについてを新たに協議していく。

○グループ活動

①「渡良瀬遊水地及びその周辺でコウノトリが見られる場所とその環境」

合同部会②の開催通知にあわせて依頼しましたアンケート回答をもとに、情報の交換を行う。コウノトリがどこにいて、その場所がどのような環境であるかを共有することで、渡良瀬遊水地及びその周辺で

のコウノトリの好む環境を把握し、保全へとつなげる。

②「コウノトリを観察する際の注意点」

コウノトリが飛来し多くの方が遊水地へ訪れている。その方々に観察方法や観察マナーを啓発するために、「観察する際の注意点（渡良瀬遊水地版）（仮称）」の作成を検討。作成にあたり、コウノトリを観察するときに気を付けること、特に渡良瀬遊水地ならではの意見を出し合う。

観察する際の注意点の例（他団体からの抜粋）

兵庫県立コウノトリの郷公園

- ・静かに見守りましょう
（150m以上離れる）
- ・地域に迷惑をかけないようにしましょう
（無断での市有地や農地への立ち入り禁止）
- ・繁殖期間は、巣に近づかないようにしましょう
（2月～7月が繁殖期）

千葉県野田市

- ・追い回したり、驚かしたりせず、静かに見守ってください
- ・餌を与えないでください
- ・他の動物も一緒に見守ってください

③「その他今後もコウノトリが棲み続けるための課題と私たちができること」

コウノトリの好む環境の把握・保全、観察時の注意点の啓発以外に、コウノトリが棲み続けていくための課題について意見を出し合い、それらにどう対応できるかを協議する。